

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28 年 2 月 25 日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|------------------------------------|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470103676 | | |
| 法人名 | 有限会社 美 泉 | | |
| 事業所名 | グループホームよってきんさい本浦 | | |
| 所在地 | 広島市南区本浦町27-18 (電話) 082-508-2626 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年12月26日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103676-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成28年2月24日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|---|
| <p>8月1日に新築オープンし、利用者様が快適に過ごせる様に設備も整っています。職員・利用者様が地域の一員とし、家庭的な環境の中でその人らしく生き生きと“笑顔” “やさしさ”を大切に生活しています。</p> |
|---|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

| |
|---|
| <p>このホームは、昨年8月に1ユニットから2ユニットへと新築オープンし、家庭的な雰囲気を大事にした設計としている。利用者それぞれの思いを大事にし、利用者のペースで生活できるように職員は「笑顔」と「やさしさ」を忘れずに、日々取り組んでいる。「食事を楽しむ」を重視し、一汁三菜の食事を毎回提供している。週に1度、刺身を献立に入れたり、月に1-2回は外食や出前を楽しんでいる。天気の良い日には出来るだけ外出するようにしている。介護度の高い方も車いすで参加し、そのことが地域住民との交流につながっている。ホームとしては、要望があれば看取りを行う方針であり、医師と協力し看取りを行っている。昨年8月から、2件の看取りを行った。お一人のご家族の希望でホームで葬儀を行い、その際には地域住民からの弔問もあった。</p> |
|---|

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | 会社独自の理念を作っている。毎朝全員で唱和し、頭に入れて仕事をする様にしている。 | 法人の運営方針を理念として、毎朝唱和している。理念に沿って、職員が長期・短期目標を立て、それを評価していたが、今年度は施設の引っ越し等の為に実施されていない。今後はまた、再開する予定である。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 毎日散歩に出掛けている。積極的にお話をしたり交流している。月1回の地域サロンに参加し、町内の方と交流している。 | 町内会に加入し清掃活動や夏祭りの準備を利用者と一緒に協力している。利用者は、地域の夏祭り、毎月の「いきいきサロン」に参加し交流している。日常的に近隣を散歩しているが、その際に、地域の人が利用者に声をかける関係が出来ている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 運営推進会議等に地域の方にお話をしている。一人での外出時に声を掛けて下さり、ホームへ連絡して下さり認知症について理解されている。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 2ヶ月の様子等を報告している。地域の方の意見や協力を得て、サービス向上につなげている。 | 毎回、利用者や地域代表などが参加し定期的に開催されているが、今のところ、家族の参加はない。会議議事録は、ホーム玄関に置いてあり、家族が閲覧できるようになっている。 | 会議では、出席者が意見交換をしているが、記録に残されていない。今後は、会議の内容を記録して、家族に報告して頂きたい。それにより、利用者家族が運営推進会議に関心を持ち、会への参加につながることを期待します。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 新築開設の為、連絡・相談を行った。 | ホームの新築開設の為に、市・区に相談を行った。地域包括支援センター担当者は運営推進会議に参加し、その際に、担当者からの利用に関する相談に応じることもある。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>身体拘束の研修をしている。日中は玄関の施錠せずに、天気の良い日には開放している。2階の電気扉も、日中は開放している。</p> | <p>法人全体で「身体拘束ゼロ運動」に取り組んでいる。身体拘束に関する具体的なマニュアルを整備し、それを基に研修を年に1回行っている。ホームでは、点滴する際に腕をベルトで固定せず、日中は玄関を施錠せず、利用者は外に出ることが出来る。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>社内研修を実施している。入社時に誓約書を交わしている。お互いに注意し虐待防止に努めている。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>社内・社外研修で行っている。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>契約時には、重要事項説明書・契約書により説明を行い、理解・納得の上で署名・押印を頂いている。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>玄関に苦情箱を設置している。意見・要望に対する窓口も明確にし、掲示している。面会時等を利用し、要望を聴く様になっている。</p> | <p>家族が来訪した際に、家族の意見を聴いている。家族から苦情があれば、職員と話し合い、家族に説明している。敬老会、花見、誕生会に家族が参加することがあるが、今後はその機会を利用して、家族の意見を聴く方針である。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>職員とも日々話をする機会を作っている。意見を聞き、取り組みに入れ、実施している。</p> | <p>管理者は、日々職員と話す機会を持ち、職員の意見を聞いている。仕事に関する職員アンケートを毎年11月に行っていたが、今年度は開設準備で忙しく実施できなかった。来年度から再開する予定である。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>リーダーや役割を与え、やりがいを持つ様になっている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>能力や意欲によって実務者研修や他研修に参加しスキルアップの取り組みをしている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>エリア勉強会に参加し交流している。他ホームの意見を聞き、サービスの質の向上につなげる様になっている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>入居前に面接を行い、細かく聴く様になっている。入居後は関わりを多く持ち、本人のペースを崩さず生活に慣れて頂く様になっている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>家族の意見を聞き、サービスへ取り組んでいる。面会時にはゆっくりお話をしている。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>本人家族よりしっかりお話を聴き、サービスを見極めている。必要なサービスを検討し他サービスとも連携している。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>共に生活するという思いを持ち、楽しい時には一緒に笑ったり、掃除や食事作りを一緒にを行い、関係を築いている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>面会時には、自室でゆっくり出来るように配慮している。御家族と相談し、一緒に支えていく事を伝え、協力し、絆が切れないようにしている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>本人の希望に沿って、自宅に同行したり可能な限り支援している。</p> | <p>「今まで住んでいた家を訪ねたい」との要望に応えたり、利用者の親族の結婚式や同窓会に、職員が同行したこともある。また、家族と一緒にいけない場合は、墓参りにも同行している。このように馴染みの人や場所の関係を継続させるために、職員は熱心に支援している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | リビングの席は相性を考慮し決めている。ソファは2席設置しており、気の合う利用者様がゆっくり出来るようにしている。交流が難しい方には職員が間に入り、孤立しない様にしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | サービス終了し退居された後も、希望があれば家族の相談に乗り、支援している。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 月1回のモニタリング時に、しっかり聞く様にしている。困難な場合は、本人がどのように思っているか話し合いを行っている。 | 日々の会話などから得られた利用者の思いは、「日々の記録」や「アセスメント用紙」に記録し、職員間で共有している。自分の思いを伝えられない人は、利用者の表情から思いを察知し、対応している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前面接で、細かく聞く様にしている。入居後も気付いた事、情報など細かく記入している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 個々のペースに合わせ、自室でゆっくりされたい時は、ゆっくりして頂いたり、押し付けはせずに生活している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | <p>アセスメントを細かく記入し、課題を明確にし、介護計画を作成している。</p> | <p>モニタリングは、月に1回、ケアプラン作成者が職員の意見を聞き、作成している。4か月に1回、アセスメントを作成するが、その際に、利用者の状況を具体的に職員に記入してもらい、ケアプランの見直しを行っている。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | <p>一方的な記録にならない様に、発語や様子を細かく記入している。熱発等は赤色で記入し、分かりやすくしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | <p>状況に応じて話し合いを行い、サービスの検討をしている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | <p>個々の資源を理解し、地域の一員とし散歩や町内行事へ参加し交流している。</p> | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | <p>入居前のかかりつけ医へ継続して受診している。（歯科、耳鼻科、眼科等）</p> | <p>利用者や家族の要望で、かかりつけ医を決めている。内科領域に関しては、多くの利用者がホーム協力医をかかりつけ医としている。体調不良時は、医師に連絡し対応している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | <p>看護師を配置している。気付いた事等は報告し、連携を取っている。</p> | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院時には毎日交代で面会に行っている。面会時に看護師に様子を聞き、情報共有している。</p> | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | <p>入居前に重度化時や看取りについてお話をしている。状態変化時には、家族・医師とも話し合い、意向の確認をし取り組んでいる。</p> | <p>ホームとしては、利用者や家族の要望があれば、看取りを行う方針である。利用時に「重度化した際の指針」を説明している。重度化した際には、家族・医師・看護師・ホーム管理者が話し合いを行い、家族の意思を確認している。要望があれば、医師と協力し看取りを行っている。今年度は2件の看取り事例があった。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | <p>研修を実施している。又、マニュアルを確認し、いつでも確認出来るようにしている。</p> | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | <p>年2回訓練をしている。地域には支援、協力をお願いしている。</p> | <p>年に2回（5・10月）、日中の避難訓練（うち1回は消防署立ち合い）、それと年に1回（3月）、事業所独自の夜間を想定した訓練を行っている。そのいずれの訓練にも利用者が参加している。10月の避難訓練には、近隣住民や町内会役員にも参加して頂いている。</p> | <p>今のところ、災害時には、ホームから町内会長に連絡し、その後必要個所に伝達する仕組みはできている。今後は、地域住民に協力して頂く具体的な内容を提示し、町内会と話し合いを行って協力体制を整備し、災害に備えて頂きたい。</p> |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 声掛けは明るく、優しい態度で接している。 | 利用者の今までの生活歴を踏まえて、利用者に応じた声掛けを行い、個人情報を外に漏らさないよう、職員を指導している。利用者の個人名や顔写真を公表してほしくない利用者に対しては、十分に配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 飲み物を決定して頂いたり自己決定出来る様にしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 日課（業務）にとらわれず、利用者様のペースに合わせ話をしながら希望に沿って支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 外出時は化粧をしたり、一緒に洋服を選んだりしている。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | メニュー作成時、食べたいものをお聞きし、メニューに取り入れている。意志が伝えられない方には好物を把握し、メニューに取り入れる様にしている。 | 利用者の要望を基に、献立を作成している。しかし、利用者と一緒に買い物に行き、利用者の要望で献立を変更することもある。朝食にパンの要望があればいつでも対応している。食事は一汁三菜を基本とし、週に1回、さしみを提供し、月に1～2回は外食や出前を楽しんでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p> | <p>体型・食欲等に考慮し，茶碗の大きさを決めている。食事量の少ない方には補食としてエンシュアを飲用したり，バナナ・パンを食べて頂いている。</p> | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | <p>毎食後口腔ケアを実施している。うがいが出来ない方にはブラッシングを行い，ハミングッドにて口腔ケアをしている。</p> | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | <p>排泄パターンを把握しトイレ誘導を行っている。夜間可能な限り声掛けを行い，トイレ誘導を行っている。</p> | <p>利用者の排泄パターンを把握して，利用者のトイレ誘導を行っている。日中は，布パンツにパット，夜間は，睡眠がとれるようにリハビリパンツにパットを併用し，出来るだけオムツの使用を減らす取り組みを行っている。</p> | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | <p>便秘がちな方には毎日牛乳を飲用して頂いている。便秘予防に散歩や体操に参加して頂き，しっかり身体を動かしている。</p> | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | <p>日曜日以外はお風呂を沸かしている。週に3回は，最低入浴して頂いている。希望があれば毎日入浴される方もいる。</p> | <p>週3回，入浴するようにし，午後2～6時の間で，利用者の要望により入浴時間を決めている。利用者が希望すれば，毎日入浴することも出来る。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>昼食後、お昼寝をして頂いている。安眠につながる様に、日中は散歩等にて身体を動かして頂いている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>医療・薬等欄を作成し、全員見られる様にしている。臨時薬が出た時には申し送りノートへ記入し、全員が見てサインをする様にしている。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>料理が得意な方には一緒に料理をしたり、個々に合った役割を持って頂く様にしている。</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>毎日散歩に行ったり、地域サロンに参加している。希望があれば自宅・墓参り等に同行している。</p> | <p>天気の良い日には、出来るだけ散歩に出かけ、介護度の高い利用者も車いすで参加し、住民と話す機会を設けている。午前中は主として散歩をし、午後は食材の買い出しに出かけている。毎年、花見に出かけている。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>家族よりお金を預かっている。買い物時には本人に渡し、自由にしている。出納は金銭出納帳に記入している。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | 居室に子機を使用し、ゆっくりお話して頂いている。 | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | リビング・トイレ等、分かりやすく明記している。季節に合わせた作品等を飾っている。 | 掃除担当のスタッフが居て、室内を清潔に保つよう努めている。リビングには床暖房や加湿器を設置し、温度・湿度を適切に保ち、快適に生活できるように配慮している。 | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | ソファは2ヶ所設置している。テーブル席は相性で決めている。 | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | ダンス等なるべく使い慣れた物を持参して頂いている。相談しながら居室作りをしている。 | 居室入り口には、職員と一緒に作った表札が掛けてある。利用者が落ち着くように、今まで使用した家具を持ち込んで頂き、安心して生活できるように、家族と相談し部屋を整えている。 | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | 居室には手作りのプレートを付けている。オープンキッチンで下膳等しやすい様にしている。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|---|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ | ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ | ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | ○ | ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい本浦

作成日 平成28年3月11日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|------------|
| 1 | 35 | 災害時の緊急避難がスムーズに行えるよう、地域の協力を得る | 町内防災組合との協力体制の締結 | ①運営推進会議を通し、具体的な協力体制の話し合いを進める | 1年 |
| 2 | | | | ②消防署の協力を得て、町内会と合同で避難訓練をする | 〃 |
| 3 | 4 | 運営推進会議の内容をご家族に知って頂き、参加につなげる | 運営推進会議に感心を持って頂けるよう情報提供する | ①会議録を作成し内容をご家族にお伝えする | 1年 |
| 4 | | | | ②事前に推進会議の日時をご家族にお知らせし参加して頂く | 〃 |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。